



高中だより



令和8年6月26日

6月号

杉並区立高井戸中学校

校長 陽田 登志意

教育目標 ゆたかな人 ねばり強い人 たくましい人 よく考える人

振り返りを大切に！

副校長 持田 肇

今年度、高南中学校から異動してまいりました、副校長の持田 肇（もちだ はじめ）と申します。

小規模な学校から生徒数が一番多い学校に来て、初めは生徒数の多さに圧倒されましたが、ようやくその環境にも慣れてきました。高井戸中学校の歴史を大切にしながら、生徒が楽しく安心して通える学校を作っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

着任してからあっという間に3か月近くが過ぎようとしています。気が付けば6月も終わりに近づいてきました。この間、入学式に始まり、1年生のフレンドシップスクール、体育大会、アンネのバラ50周年記念シンポジウムなど、様々な活動が行われてきました。そして先週には、今学期の学びの集大成ともいえる期末考査が実施されました。3日間の考査期間中、生徒たちが真剣に取り組む姿が見られました。休み時間にも、次の教科に備えて静かにノートやワークを確認する様子があり、普段の賑やかな姿とは異なる一面から、場面に応じてしっかりと切り替えができていたことがうかがえました。

最終日の終了後には、緊張感が緩んだようで笑顔がこぼれ、ほっとした表情を見せる生徒が多く見られました。一方で、思うように力を発揮できなかったと感じ、悔しさや不安な様子を見せる生徒もいました。

1年生にとっては初めての定期考査でしたが、力を出し切れたでしょうか。2年生にとっては今後の学習の仕方を再構築していくための材料になるでしょう、そして3年生にとっては、進路を決めるための重要な意味をもっていたと思います。十分に力を出し切ることができたでしょうか。

それぞれに受け止め方は異なると思いますが、テストは受けて終わりではなく、その後の行動が大切だと考えます。

より高い得点を目指すためには、直後の「振り返り」が非常に重要です。結果が良かった場合は、テストに向けてどのように取り組んだのか、その過程を見直し、再現できるようにしておくことが重要です。

一方、結果が思うようにいかなかった場合は、どこでつまづいたのか、どの内容の理解が不十分だったのかを見極めましょう。具体的には、間違えた問題の正解を確認し、「なぜ間違えたのか」という理由を明確にすることが、同じ誤りを防ぐことにつながります。また、間違いをすぐに見直すことで、記憶の定着にも効果があるといわれています。

中学校生活は、思っている以上にあっという間に過ぎていきます。定期考査は年4回、3年間で12回しかありません。結果に一喜一憂するのではなく、次の学習に向けていかに早く行動を起こせるかが、その後の成果を大きく左右します。将来を考える上で、学習は避けて通ることのできないものです。ぜひ振り返りを大切に、次につなげていってほしいと思います。

ご家庭におかれましても、お子様の取組や努力の過程に目を向け、励ましや温かいお声掛けをしていただければ幸いです。是非、振り返りを一緒に進めてください。今後とも、生徒の学力の向上に向けて、教職員一同尽力してまいります。



体育大会

体育大会担当：小林 祐哉

5月23日（土）に第79回体育大会が行われました。今年の体育大会のスローガンは「疾風 迅雷 輝け 高中」。速く走り、一人一人が光輝く体育大会にしようという意味が込められています。

クラスカラー5色の色別対抗戦も行いました。上級生と下級生が協力し応援している姿が印象的でした。実行委員を中心に安全に楽しく実施できるよう、話し合いを重ね、種目の決定に至りました。また、学年種目も話し合って決めたり、学年練習の進行も務めたり、様々な場面で実行委員が活躍してくれました。また、当日は用具の準備や審判、生徒の入退場の誘導など、各委員会の生徒が係生徒としての自分の役割を全うし、生徒主体の体育大会を実現させてくれました。自分たちで作り上げたからこそ感じた達成感や、クラスの中で貢献できたことがあったのではないのでしょうか。体育大会を通して、各クラスでよりよい人間関係を築くとともに、協調性や責任感、自主性に磨きがかかったように感じます。今回学んだことを今後の学校生活でも生かして行ってほしいと思います。

最後になりましたが、体育大会を迎えるにあたり多大なご協力をいただきました保護者の皆さま、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

【体育大会フォトギャラリー】



6月6日（土）、アンネのバラ50周年記念シンポジウムが開催されました。「伝えて、繋げていく力」と「表現する力」という2つの柱を軸に、山口様の司会のもと、高井戸中学校とアンネのバラを繋いでくれた本校卒業生の坪松様、高原様、広野様、晝場様から当時の貴重なお話をうかがうことができました。

アンネのバラが高井戸中に来た時のお話、小林桂三郎先生と文集「暗い炎の後に」を編集したお話、アンネのバラ委員会設立時のお話や40周年時のお話など、興味深い内容ばかりでした。

また、卒業生や保護者の方々、アンネのバラサポーターズや地域の方々にも多数お越しいただき、実りのある時間となりました。

当日の給食の時間には、アンネのバラ委員会の広報担当から、シンポジウムに関するクイズが放送されました。当日配布された記念品のクリアファイルは、アンネのバラ委員会のレク担当で募集したキャラクターが採用されています。ぜひ大切に使ってください。

50周年という節目の年を迎えた今、平和や継承することの尊さを改めて考えていきましょう。

【アンネのバラシンポジウムフォトギャラリー】



道徳地区公開講座

道徳担当：岡村 裕美子



6月6日(土)2,3時間目のアンネのバラのシンポジウムを受けて、4時間目は各クラスで以下の目標のもとに道徳の授業を行いました。

- (1) アンネのバラの説明や授業参観を通して、保護者に道徳教育や生徒の様子などについて理解や協力を得る機会を設定し、保護者との連携を図る。
- (2) アンネのバラの取組について、今後も生徒が自主的・主体的にバラを大切にしようとする気持ちを養う。
- (3) アンネの想い、アンネのバラの取組を始めた当時の生徒やそれを守りきった生徒の行動力を知り、本校の伝統である自主・自律の精神を養う。

1年生は「50年前、アンネのバラと高井戸中学校をつないだ卒業生の話」、2年生は「アンネのバラ」、3年生は、「勇気をもとう!」という題材です。1年生はシンポジウムに来てくださった坪松さんが登場する話だったので興味深く取り組んでいました。

いのちの安全教育

安全指導担当：大野 裕太

東京弁護士会から講師の先生をお招きし、「性の多様性について」「LGBTQ+とはなにか?」という題目で講義をしていただきました。性自認(性についての認識)の話では、何をもって男性らしさ女性らしさという判断になるのか?心のあり方は人それぞれ違うといったことなど、実際にあった事例をもとに具体的にお話していただきました。生徒からは「自分の周りにも悩んでいる人がいるかもしれない」「生活の中で、周囲への配慮を大切にしたい」など感想がある中、講師の先生からの「世の中のLGBTQ+は10人に1人」という話に驚いている生徒が多くいました。最後に講師の先生からは「悩みや困りごとは近くにいる大人に話してごらん。どうすればいいか一緒に考えてくれるよ」というお話をいただきました。

普段聞くことができない内容でしたが、生徒たちは様々なことを想像しながら、考えを深める時間となりました。



7月の予定

日	曜	全体		給食
1	水	職場体験[2] (放)アンバラ委(サ)※1・3年	1年 2年 3年	○ × ○
2	木	職場体験[2]	1年 2年 3年	○ × ○
3	金	50×5 ⑥カット 昼学活	1年 2年 3年	○ ○ ○
4	土	(AM)英検2次対策		
5	日			
6	月	50×5(⑥②③④⑤) (放)専門委(前4・係1) (放)学実委(2)	1年 2年 3年	○ ○ ○
7	火	50×5 ⑥カット 昼学活	1年 2年 3年	○ ○ ○
8	水		1年 2年 3年	○ ○ ○
9	木	避難訓練 (放)中央委	1年 2年 3年	○ ○ ○
10	金	50×4(①⑤③④) 昼学活 ③④理科出前授業[2] ⑤校内研究授業	1年 2年 3年	○ ○ ○
11	土			
12	日			
13	月	生徒朝礼(職体報告/学芸) (朝)安全指導(台風・落雷) ③④理科出前授業[2]	1年 2年 3年	○ ○ ○
14	火	③④理科出前授業[2]	1年 2年 3年	○ ○ ○
15	水	昼学活 (放)アンバラ委 学びの教室面談 始	1年 2年 3年	○ ○ ○
16	木	50×5 ①②③④美 昼学活 ⑤美化活動	1年 2年 3年	○ ○ ○
17	金	①終業式・表彰・学年集会 ②学活	1年 2年 3年	× × ×
18	土			
19	日			
20	月	海の日		
21	火	夏季休業日 始 ①～③パワーアップ教室		
22	水	①～③パワーアップ教室		
23	木	教育相談 始		
24	金	学びの教室面談 終		
25	土			
26	日			
27	月			
28	火			
29	水			
30	木	教育相談 終		
31	金			